

# 会 議 録

会議の名称	令和5年度第1回太子町総合教育会議												
開催の日時	令和5年8月8日（火）午前10時～午前11時10分												
開催の場所	太子町役場 議会棟2階 常任委員会室												
出席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">（町長） 沖汐 守彦</td> <td style="width: 50%;">（教育長） 糸井香代子</td> </tr> <tr> <td>（副町長） 榮藤 雅雄</td> <td>（教育委員） 福田 秀樹</td> </tr> <tr> <td>（総務部長） 森田 好紀</td> <td>（教育委員） 福本 充治</td> </tr> <tr> <td>（生活福祉部長） 嶋津 一弥</td> <td>（教育委員） 杉本 泰代</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（教育委員） 竹澤 秀代</td> </tr> <tr> <td></td> <td>（教育次長） 森 文彰</td> </tr> </table>	（町長） 沖汐 守彦	（教育長） 糸井香代子	（副町長） 榮藤 雅雄	（教育委員） 福田 秀樹	（総務部長） 森田 好紀	（教育委員） 福本 充治	（生活福祉部長） 嶋津 一弥	（教育委員） 杉本 泰代		（教育委員） 竹澤 秀代		（教育次長） 森 文彰
（町長） 沖汐 守彦	（教育長） 糸井香代子												
（副町長） 榮藤 雅雄	（教育委員） 福田 秀樹												
（総務部長） 森田 好紀	（教育委員） 福本 充治												
（生活福祉部長） 嶋津 一弥	（教育委員） 杉本 泰代												
	（教育委員） 竹澤 秀代												
	（教育次長） 森 文彰												
陪席者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">陪席者（総務部総務課長）</td> <td style="width: 50%;">中井 義之</td> </tr> <tr> <td>（生活福祉部社会福祉課長）</td> <td>肥塚 馨</td> </tr> <tr> <td>（教育委員会管理課長）</td> <td>改野 学由</td> </tr> <tr> <td>（教育委員会社会教育課長）</td> <td>大谷 康弘</td> </tr> <tr> <td>事務局（総務部企画政策課長）</td> <td>熊谷 恵之</td> </tr> <tr> <td>（総務部企画政策課係長）</td> <td>井出 洋平</td> </tr> </table>	陪席者（総務部総務課長）	中井 義之	（生活福祉部社会福祉課長）	肥塚 馨	（教育委員会管理課長）	改野 学由	（教育委員会社会教育課長）	大谷 康弘	事務局（総務部企画政策課長）	熊谷 恵之	（総務部企画政策課係長）	井出 洋平
陪席者（総務部総務課長）	中井 義之												
（生活福祉部社会福祉課長）	肥塚 馨												
（教育委員会管理課長）	改野 学由												
（教育委員会社会教育課長）	大谷 康弘												
事務局（総務部企画政策課長）	熊谷 恵之												
（総務部企画政策課係長）	井出 洋平												
傍聴者	なし												
議事	<p>(1) 令和6年度の組織改正に向けた子ども政策の一元化の進捗状況等について</p> <p>(2) 令和6年度以降の幼稚園の在り方について</p>												
会議の概要	別紙議事録のとおり												
公開・非公開の区分	公開												
使用した資料	次第・令和5年度第1回太子町総合教育会議資料												
連絡先	<p>総務部企画政策課</p> <p>TEL:079-277-5998 FAX:079-276-3892</p>												

## 1 開会

事務局

(熊谷企画政策課長)

失礼いたします。定刻となりましたので、ただ今から令和5年度第1回太子町総合教育会議を開会いたします。

本日の司会進行を務めさせていただきます、企画政策課の熊谷でございます。よろしくお願い申し上げます。

まずはじめに、沖汐町長からご挨拶を申し上げます。

## 2 あいさつ

沖汐町長

本日は、大変お忙しい中、令和5年度第1回太子町総合教育会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

また、平素は、町教育行政の運営に格別のご配慮を賜っておりますこと、厚くお礼申し上げます。

5月より新型コロナの法的位置付けが2類から5類相当へ移行され、学校現場でもアフターコロナ、従来の学校生活・学校行事が戻ってきているように感じています。

さて、昨年度の本会議より、早くも半年が経過いたしました。前回申し上げました「子ども政策の一元化」につきましても、今年度当初より行革の委員会を立ち上げ、その中の子育て専門部会において、国などの動向も注視しながら検討を進めているところであります。この度、一定の方向性が出てきておりますので、教育委員の皆様とこの場を通じて情報共有ができればと考えております。

また、前回の会議でも議論いたしました「幼稚園の在り方」につきましても、教育委員会での検討状況などもお示しいただきながら、意見交換ができれば幸いです。

この4月より糸井教育長をお迎えし、初めての総合教育会議でもありますので、先ほど申しました議事などについて、本町教育のビジョンや課題を共有し、さらに連携・協力して、教育行政を推進していくことができましたらと考えております。

本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局

(熊谷企画政策課長)

それではまず、この会議の構成員を確認させていただきます。

お手元の資料の1ページに構成員名簿をつけさせていただいております。この名簿のとおり、本会議は、町長部局より、町長、副町長、総務部長、生活福祉部長の4名が参加いたします。また教育委員会からは、教育長、福田教育委員、福本教育委員、杉本教育委員、竹澤教育委員、教育次長の計6名が参加されます。

また、陪席者として町長部局より総務課長、社会福祉課長、教育委員会より管理課長と社会教育課長が出席しております。

なお、事務局は、企画政策課の 私熊谷 と 井出 が担当いたします。

## 3 議事録署名委員の選定

事務局

(熊谷企画政策課長)

次に、次第の「3」、議事録署名委員の選定につきましては、本日は 福田秀樹委員 と 竹澤秀代委員 をお願いしたいと思います。

お二人には、後日、事務局がまとめました議事録をご確認の上、署名をお願いいたします。

#### 4 議事

事務局

(熊谷企画政策課長)

次に、次第の「4」、議事に移ります。昨年度に開催しました総合教育会議において、この令和5年度に子育てに関する国の動きや内部の検討状況を踏まえ、令和6年度の子ども政策の一元化に向けた組織改正の方向性について、この総合教育会議などで情報共有をさせていただき旨をお話ししておりました。

まず、1点目の議題としまして、現段階での組織改正の方向性等について、大枠を沖汐町長よりご説明申し上げ、事務的な部分や詳細については、森田総務部長よりご説明申し上げます。

沖汐町長

前回2月の総合教育会議以降、行革の様々な部会を開いてそれぞれで議論を進めているところです。それで一つとしては、やはり社会福祉と教育です。これは違うものではありませんが、やはり子どもに関したことは一元化しようということで、役場行政棟の2階に教育関係を全て移動し、福祉、児童手当等々も含めて、子どもに関したものは全てのラインを2階で完結をすることとしています。教育長室についてもこちらに移動し、逆に、現在の教育委員部局の場所には、総務課や財政課を移動し、子育て関係の一元化をしようということです。

それから、適応指導教室も懸案になっていましたが、旧庁舎跡地の有効利活用ということで、中央公民館の跡地のふれあいホールに適応指導教室をもっていくこととし、この9月の補正予算において1,000万円余りを計上予定で、内装といたしますか対応を考えていく予定です。また、トイレについては、来年度予算で正式に措置していく予定です。教育関係、子ども関係の一元化、役場の跡地の利活用と適応指導教室の移転ということで2点でございました。

一方、今のところ学童保育の所管をどうするかなど、様々な課題もありますが、そのあたりは教育委員会と社会福祉の方でも連携しながら、どういう対応が一番良いのかを検討していきたいと思います。しかしながら、学童保育園でトラブルが起きることがあった場合、それは学校生活の延長であり、子どもに関わることでありますので、可能であれば全て2階のフロアに集約して、所管は今後教育委員会と調整をしようと考えています。それでは、詳細はこの後総務部長にお願いします。

森田総務部長

それでは、令和6年度の組織改正に向けた子ども政策の一元化の進捗状況等について説明をさせていただきます。

資料の2ページをご覧ください。今年度は、第7次新行政改革大綱及び同実施計画の策定に向けて努力しているところであります。また、計画策定段階において「子育て支援体制構築部会」を編成し、より詳細な協議を進めておりますが、部会の中で子育てに関する相談をワンストップ化するため、令和6年4月に、仮称ではありますが、こども課を設置する。また、こども課、管理課、社会教育課同じフロアに集約することで、住

民を第一とした一体的な対応ができるなどの意見が出されました。

これらの意見を踏まえ、行政改革推進本部会議で協議し、教育委員会部局にこども課を設置する。行政棟 2 階に教育委員会の子育て関連課を集約することを決定いたしました。

配置につきましては、資料の 3 ページの配席図をご覧ください。行政棟 2 階にこども課、管理課、社会教育課を、当該執務室の奥に教育長室を配置することとしております。併せて、以前よりありました部次長スペースは廃止し、各部次長を所管部局の近くに配置することとしております。

また、行政棟 2 階に配置していた総務課、財政課については、現在教育委員会が入っている地域交流棟 3 階に移転をいたします。

手当三法及び学童保育の所管につきましては、子育て支援体制構築部会及び教育委員会において、こども課で担うことを軸に今後協議を進め、本部会議で承認を受けることとしております。

今後のスケジュールについては、組織改編に伴う条例や規則の改正及び執務室の改修等の補正予算は 12 月定例議会に上程、審議をいただき、翌年 1 月から住民の皆様にお知らせし、3 月末までに執務室の移転を完了する予定でございます。

次に、資料に記載はしておりませんが、旧庁舎跡地にあります適応指導教室ですが、旧庁舎跡地の利活用に向けて、令和 5 年度に水道管布設工事や活用事業者の選定等を実施し、令和 6 年度より民間事業者に貸し付ける予定で進めております。そのため、適応指導教室を移転する必要がございますので、旧中央公民館跡地のふれあいホールへ移転することとし、エアコン・照明の修繕や雨漏り改修が必要となりますが、当該改修等における補正予算を 9 月定例議会に上程し、令和 6 年 4 月の開設に向けて取り組んでいるところでございます。

私からの説明は以上でございます。

福田教育委員

行政棟の 2 階に子育て関係の部署を集約するという思い切った形、目に見える形で、町民に対しても、太子町は子育て支援に力を入れているという部分に分かりやすく、非常に良いことだと思えます。子育てをしている年代層を大事にすることで、「太子町は良いまちだ。」となり転入が増え、そして人口が増え、税収も増える。良い循環が生まれ、希望がもてるとても良いことであると感じています。

福本教育委員

2 階に子育て関係を集約されるということで、現段階ではベストの選択であると思えます。しかしながら、移転期間の短さを含め、職員、また、町民に負担がかからないよう、十分に配慮をお願いします。

杉本教育委員

2 階への集約ということで、子育て世代のお母さん方も非常に動きやすく、喜ばれると思えます。学童についても、「何故、福祉部門なのか。」という声をよく聞いていたので、良い方向で検討いただけているものと考えています。

竹澤教育委員	<p>非常にスピード感をもって進めていただいていると感じています。一方、学童保育のことがやはり課題になると考えています。様々なトラブルがある中で、解決するには対応する人も配置していかないといけない。ただ、学童保育の支援員の方だけでは中々大変だとも思っています。</p> <p>いずれにしても、一つの方向性が見えてきて、太子町として以前より子育てに関する相談のハードルが下がることで、お母さんたちが楽になる、期待できるというのが見えてきているので、非常にありがたいと感じています。</p>
沖汐町長	<p>教育長のご英断もあり、教育、子どもに関する部分は、就学前、小・中学生、放課後（学童）など、全部同じフロアに並べさせてほしいということで決定しています。一方、仕事だけではなく、人員や課長の配置なども含めて検討していくこととしています。</p> <p>また、1階には、総合相談窓口の設置を予定しており、教育・子育てのことは2階、その他のことは1階ということで整理させていただければと考えています。</p>
事務局 (熊谷企画政策課長)	<p>ありがとうございました。今後、予算を編成しまして、組織改正に係る工事等、そして住民周知しながらという手順で進めさせていただくという大枠について、ご承認いただくということでしょうか。</p>
福田教育委員	<p>よろしいかと思えます。</p>
事務局 (熊谷企画政策課長)	<p>ありがとうございます。それでは、続きまして議事2点目に入らせていただきます。令和6年度以降の幼稚園の在り方についてでございます。先月開催されました学校教育審議会の中でも一定の方向性は示されたということで当方も承知しているところでございますが、このことについては、森教育次長よりご説明いただきまして、その後意見交換をさせていただきたいと思えます。森次長、よろしく願いいたします。</p>
森教育次長	<p>では、令和6年度以降の幼稚園の在り方について、現在の進捗状況の概要を説明させていただきます。</p> <p>先月4日に学校教育審議会が開催されまして、「太子町立幼稚園の今後のあり方」について、教育委員会から諮問させていただきました。お手元の資料4ページがその概要版となりますが、結果としまして「4. 今後の公立幼稚園の方針」につきまして、その具現化に向けた対策を早急に講ずることなどの答申を受けております。</p> <p>また14日には、定例教育委員会を開催しまして、先の答申内容を受け協議が行われたところ、成案として議決され、現在教育委員会の事務局の方では、これらの実現に向けて作業を進めているところです。</p> <p>主なものを申し上げますと、まず一点目、「幼稚園の機能集約化の検討」では、これらは数年かけての検討ということになりますが、現状の龍田地区においては、就学前の子どもが少なく、一定の規模の中での集団活動の取組は困難であると考えられることから、現段階では、龍田幼稚園の休園も視野に入れた中での検討ということになっており</p>

ます。

また、二点目、「3歳児保育の完全実施」では、来年度から斑鳩幼稚園での3歳児保育を予定しており、これで4園全てでの実施となることや、三点目、「一時預かり保育事業の拡充と保育料の見直し」では、保護者からのニーズの高い預かり保育事業を拡大するための、預かり保育時間の拡充、預かり保育料の軽減、こういったことを予定しております。先ほどの二点目と三点目、「3歳児保育の完全実施」と「一時預かり保育事業の拡充と保育料の見直し」については、両方とも必要な改正条例案を9月議会に提案することとしております。

簡単ですが概要の説明は以上でございます。

事務局  
(熊谷企画政策課長)

ありがとうございました。それでは、このことについて、町長よりお考えなどの説明を申し上げます。

沖汐町長

龍田幼稚園については、現在教育委員会でアンケートにより要望を聴取している最中ですが、私が心配しているのは、龍田地区の子どもたちで1人でも幼稚園への希望があるのであれば、その人の枠だけは保証してあげなければと考えています。例えばこども園へ優先で入ること、また、太田幼稚園や斑鳩幼稚園に入園することが良いのかなどです。

希望者がおられなければ休園せざるを得ないと思いますが、誰か行きたい人がいらっしやった場合、しっかりと相談して対応しなければならないと考えています。

さらに、その次の年度のことを考えた場合、令和7年度も休園とするのか、やはり施設の利活用などを考えると、令和6年度中に、令和7年度以降の対応方針を検討する必要があるとも考えています。このことは、教育長を中心に教育委員会の中でしっかりと考えていただけたらと思っています。

一つ質問なのですが、幼稚園の一時預かり保育事業の拡充については、職員の配置などを含め特に問題はないのでしょうか。

森教育次長

このことについては、現場の幼稚園の先生方に、保護者から非常に高いニーズ、要望があると聞いています。朝の30分だけでもかなり違う、喜ばれるとのこと。人の配置については、今後考えていくという状況です。

杉本教育委員

龍田幼稚園の休園の件は、以前から周辺で「どうなるんだ。」というお声を聞いていました。また、おじいちゃんおばあちゃん世代の方からもどうなるのかという噂が立っている状況もありました。休園ということはしょうがないと思うのですが、町長も言われた令和6年度だけではなく、令和7年度以降どうするのかということも含めて示していただけるとありがたく思います。休園していると、しばらく使わないということで老朽化していくこともあるでしょうし、個人的にはその後一元化が良いと思っていますが、復活ならば復活ということで、事前に明示いただきたいと考えています。

沖汐町長 現在、龍田地区の対象者にアンケートを取ってる最中であるため、これがまとめ次第、教育委員会で最終の方向性を出すということになると思います。議会に諮る、議決を得る必要は出てきますか。

森教育次長 休園の基準は、議会での議決は必要ありません。アンケートについては明後日 10 日を期限としていますので、その後事務局で集計をさせていただき、どのような意見があるのかを見させていただきながら、改めて教育委員の皆様にはご意見を伺いたいと考えています。

福本教育委員 幼稚園の一時預かり保育事業の拡充と保育料の見直しについては、なるべく早く実施していただければと思います。現在お困りの方もいらっしゃると思いますので、予算次第だとも思いますが、よろしく願います。

森教育次長 一時預かり保育事業の拡充と保育料の見直しについては、9 月議会でこの内容を可決いただきましたら、来年度以降の募集からということを考えてます。できるだけ早くということも思っておりますが、やはり初めからこういったことをお示しした上で募集した方がいいのではないかと考えておまして、この点はご了解いただけたらと考えています。

竹澤教育委員 来年度より斑鳩幼稚園でも 3 歳児保育が始まるということで、全園を同じテンポで進めていけるということがありがたいことだと思っています。子どもがこれだけ少なくなってきたので、何かしらの手当てがあり、それにより「太子に帰ってきて子育てしたい。」という強い希望がなければ人口の増加もないと思いますので、このようなことが継続できることを願っています。

福田教育委員 幼稚園の 1・2 年先頃までの見通しはだいぶ見えてきた中で、特に町長も言われた龍田地区の保護者を、1 人でも希望者があれば大事にするという部分については、短いスパンで考えた時には最も重要なところだと思います。やはり、自身の地区の幼稚園がどうなるかというところで不安を抱えてる地区の保護者や子どもたちを町が一番大事にするという、あるいはそこを優先して考えるということは、不安を解消するという意味でも、町の姿勢としてとても嬉しいことだと感じています。

一方、中・長期的には、集約化・統合化をしっかりと考えないといけない時期にきていると思います。様々な事業を後回しにしてでも、「太子町に住もう。太子町で教育を受けたい。」と思っただけのように、職員をきっちりと確保した上で、先延ばしせずに取り組んでいただければと思っています。

沖汐町長 町全体で考えた時に、緊急度や必要性等を踏まえて、財政状況も見ながら優先順位を検討していく必要があります。幼稚園については、個人的には一元化という方向性で思っていますが、場所の問題、財政上の問題など、様々な課題があるのが現状です。

榮藤副町長

最終的には町長も一元化という思いはもっていらっしゃいますが、一概に公共の教育・保育施設を作るということについては、これまで民間企業に待機児童の解消に向けてこども園を作ってくださいとお願いしていたところで、急に公共の施設を作ることになれば、民業の圧迫という点でもバランスをとっていかなければいけない部分があり、難しいところもあるのが実情です。

竹澤教育委員

先ほどお話があったように、待機児童が今いないということで、民間でこども園を作っていた皆さんに大変感謝しております。一方、幼稚園を作る限りは、私は特化したものが必要だと考えています。民間施設では中々対応できないような多動のお子さんや様々な支援が必要な子どもさんもたくさんいらっしゃいます。その子どもさんを含めて、バリアフリー等何らかの特化したもの、町の幼稚園は皆を受け入れるということで、誰も取り残さないということをしていく。民間施設でも受け入れにお困りの子どもさんがいると思いますので、人を取り合うのではなく、町の施設であれば預けることができますよと。官民が協働で実施できるというのが、費用も非常にかかると思いますが良いと思います。

沖汐町長

ある意味子どものセーフティネットという部分で重要なことだと思います。一方、町内のこども園でも改修や改築、新たな認可に向けた動きなどもあり、先ほど副町長も申したとおり、このあたりも見ながら整理していく必要があります。

福田教育委員

副町長がおっしゃられたとおり、民業を圧迫しないという部分は教育委員会も共通の考え方です。よって、幼稚園は一元化の方向性ですが、こども園にはしないということです。当然、今まで民間にこども園をお願いしてきていますので、突然方向転換ということになるとこれは大変だということは理解しています。先ほど竹澤委員も発言されましたが、特別支援教育体制の充実という部分は、経営上民間ではできないことだと思いますので、幼児期だけでなく、就労まで相談に乗りますよというような形の機能を含めて設置することを、公立でしかできないことをしていただきたいというのが意見です。

沖汐町長

しかしながら、私も学校現場の経験がありますが、中学校を整備しました、次は小学校を整備しないといけないという中で、全体を考えたときに、幼稚園まで手が回っていないという状況もあるのではないのでしょうか。中学校は太子西中学校のトイレ改修で概ね完了かと思っていますが、その次は小学校がありますし、優先順位をどうするかというところもあると思います。最終的な優先順位や来年度予算の重点施策などは、今後教育委員会より挙げてもらうこととなりますが、このように考えています。

また、先ほどの長期的なスパンでの相談、こども支援センター的な医療や療育、教育相談機能、あるいは福祉の関係などを集約するとなりますと、設計から基本構想など、十分な議論の基、建物、事務所の検討ということが必要になるろうかと思えます。



福田教育委員	<p>幼稚園と小学校の違いとして、ある意味で幼稚園は数が多すぎて職員が分散してしまい、どの園でも同じサービスを提供しようにも職員の数が足りないという状況が起こっています。小学校や中学校の教員などの勤務条件や部活動もそうですが、幼稚園や保育所はもっと過酷だと思います。やはりこのあたりを改善して職員が働きやすくなるのが、ひいては子どもたちに還元されるわけです。</p> <p>当然最初は予算がかかるわけですがけれども、施設、外枠といいますか、教育の中身が重要であると思います。小学校、中学校にしましても、教育の中身という部分では教え方にしてもタブレットも導入済みですし、それ以外にも支援の指導員なども配置していただいていますので、十分に注力できていると思います。このあたりは太子町は手厚くできていると感じています。</p> <p>そういう意味では、施設が少々後回しになったとしても、幼稚園教育の中身という部分で、私の主観かもしれませんが、予算を含めて置き去りにされているような感じがしています。</p>
糸井教育長	<p>福田委員のおっしゃったことは、中学校現場にいた者として身につまされる思いです。子どもの原点は幼児教育にあると考えますので、ここで培われたものが大事であると認識しています。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。公立幼稚園の今後の方針につきましては、中長期的な動きはこういった会議で共有していくこととしまして、現在示されている方針や内容については、本日共有させていただいた方向で進めていただくということを確認できたと思います。2点目の議事につきましては、以上で終わらせていただきます。</p>
(熊谷企画政策課長)	<p>次に次第の「5」、その他でございます。お時間もございますので、何か他の協議などがございましたら、皆様お願いいたします。</p>
杉本教育委員	<p>先ほどの教育の中身の充実という部分ですが、龍田小学校は単独学級となっております。太田小学校であれば同じ学年に他のクラスがあつて、授業の進捗状況などを先生間で相談し合えますが、龍田小ではできません。また、例えば音楽の授業で龍田小と太田小では内容が違うというようなことも聞いたことがあります。龍田小学校の先生が孤立しないよう、学校間での交流なども検討いただきたいと思います。</p>
糸井教育長	<p>教育課程がありますので、内容が異なるということはないと思いますが、スポット的にそのように捉えられたのかもしれませんが、異なる学校で学年を超えて交流することは日常的には難しいとは思いますが、研修として他の学校へ聞きに行くということなどを含め、現状をよく把握していきたいと思います。</p>
竹澤教育委員	<p>長い夏休みの間で、様々な子どもに関する事件が起こっています。昭和の時代に私が教員として務めているときに、肥満の子どもたちにはお手紙を届けた記憶があります。</p>

また、低身長の子どもたちもです。しかし、痩せている子には手紙を渡したことはないんです。先日、自分の子どもに食事を与えずに入院させるという事件がありました。また、学校に来て給食を食べて何とか食事ができるという子もおり、やはり、生活的に苦しい家庭も多いかと思えます。

私は、子ども食堂もさせていただいてる関係で、そこでは不登校の子どもであったり、家庭的に恵まれない子どもたちへの支援のため、長い目で見て子育てのお手伝いをするという形をとっています。この場所へ来るハードルを下げて、ここへ来れば様々な経験が積めるという場所になっています。中には、以前不登校だった子どもが、「看護師になるにはどうしたらよいか。」とお話されたこともありました。その方にとっては、ここが居場所になっているのだと思います。

また、子ども食堂では勉強を教える時間もあるのですが、ある大学生の方は、以前に自分がお世話になったからと、子どもたちの指導に来てくれたということもありました。

学校の先生方でも気になる子どもがいらっしゃるようでしたら、こういった場所もあるという声かけとといいますか、そういうことをお願いするとともに、町へも困難を抱える子どもたちへの支援などをよろしくお願ひしたいと思えます。

沖汐町長

虐待やネグレクトなどは、町の所管の方でも把握はしていると思えます。ただし、子ども食堂や関係機関などに全てつなぎができていないかといえばこれは分からない部分もあります。

竹澤教育委員

やはり環境が良くない方も多く、こういった場所につないでいただく、声かけをいただければありがたいと思っています。

糸井教育長

現在学校の方へはスクール・ソーシャル・ワーカーも入っていますので、情報共有をしながら進めていきたいと思えます。

福本教育委員

先日、山形県で部活動途中の熱中症というニュースがありました。子どもたちの登下校というところでも、中々水分補給ができにくい人もおられるかもしれません。給水スポットなどについて検討していただけるとありがたいです。

沖汐町長

先日、企業さんよりウォータークーラー設置の提案をいただいていると聞いています。また、以前は中学校にも設置してあったように記憶していますが現状はいかがでしょうか。

糸井教育長

現在は、コロナ禍での使用していない期間を経て、飲み水として衛生上適さない状態となっており、使用はしていません。

福田教育委員

今は家庭の方で水筒やネッククーラーなどしっかり対策をしているものと承知して

います。通学距離が1時間を超えるようなことはないと思いますので、大きな問題は無いのではないのでしょうか。

## 5 閉会

事務局

(熊谷企画政策課長)

様々なご意見をありがとうございました。それでは本日予定しておりました議事につきましては、全て終了いたしました。なお、次年度予算の関係につきましては、秋頃に本会議を招集させていただき、また、教育委員会の方からも要望いただくことになろうかと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、閉会にあたりまして、糸井教育長よりご挨拶をいただきます。

糸井教育長

私も4月に着任しまして、本日の議事にありました組織改編、それから幼稚園の件について、非常にスピード感をもって行革を中心に進んでいることを実感しております。そして、その根底には、子どもを大切にする、子育てを大切にするにという町長の方針があると思っております。

今日の会議の中で何回も出てきましたが、太子町に住んでよかったな、太子町で教育が受けられてよかった、と子どもたちや保護者に思っていたくためにも、教育委員会と町長部局が連携を密にして、これからも頑張っていきたいと思っております。

本日は誠にありがとうございました。